



所属：JAグリーン近江
所在地：近江八幡市鷹飼町北

～ 身近な産直販売 ～



自分たちの仕事や生活が、また生きがいが身近な人に支えられている。それを実感できる地域コミュニティこそ、SDGsがめざすパートナーシップのカタチそのものです。

農業をコーディネートする

この事例集を取りまとめるにあたり、唯一個人による他薦^{たせん}での応募がありました。市内農家の方からぜひSDGsの実践者として紹介して欲しいと推薦^{すいせん}いただいたのが、JAグリーン近江にお勤めの岩穴口さんです。

この農家さんは、市内のスーパーに設けられた直売所に野菜を出品されています。自分が育てた野菜が、すぐそばで地域の人たちに手に取ってもらえる、そのことがとても嬉しくてやりがいを感じるのだそうです。そんなやりがいをいつもそばで支えてくれるのが、岩穴口さんなんだとご紹介いただきました。

岩穴口さんは、JAが認定するTAC(Team for Agricultural Coordination)として活躍されています。TACとは、農家の皆さんの元を訪れ、直接要望を受けたり、情報提供などを行う地域農業の担い手に最も近いサポーターです。

農業の大規模化や、輸入農産物との価格競争などにより、農業のあり方が変わろうとしています。岩穴口さんたちTACは、生産品目の多様化提案など、農家の皆さんが持続可能であるための支援を行っています。

また、これまでに女性が中心となった地域生産振興の相談を受け、女性が取り組みやすい切り花の「ストック」や「キク」の栽培提案を行いました。女性の新たなワークスタイルを形成すると共に、女性が自主的に活動できる環境づくりを進めたことで、地域の活性化にもつながっています。

